



廣益地錦抄

二

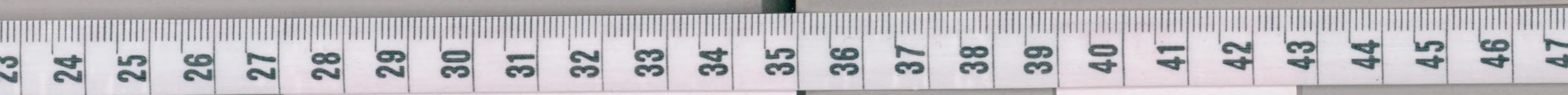
卷之二

茶山花の色  
木秋末

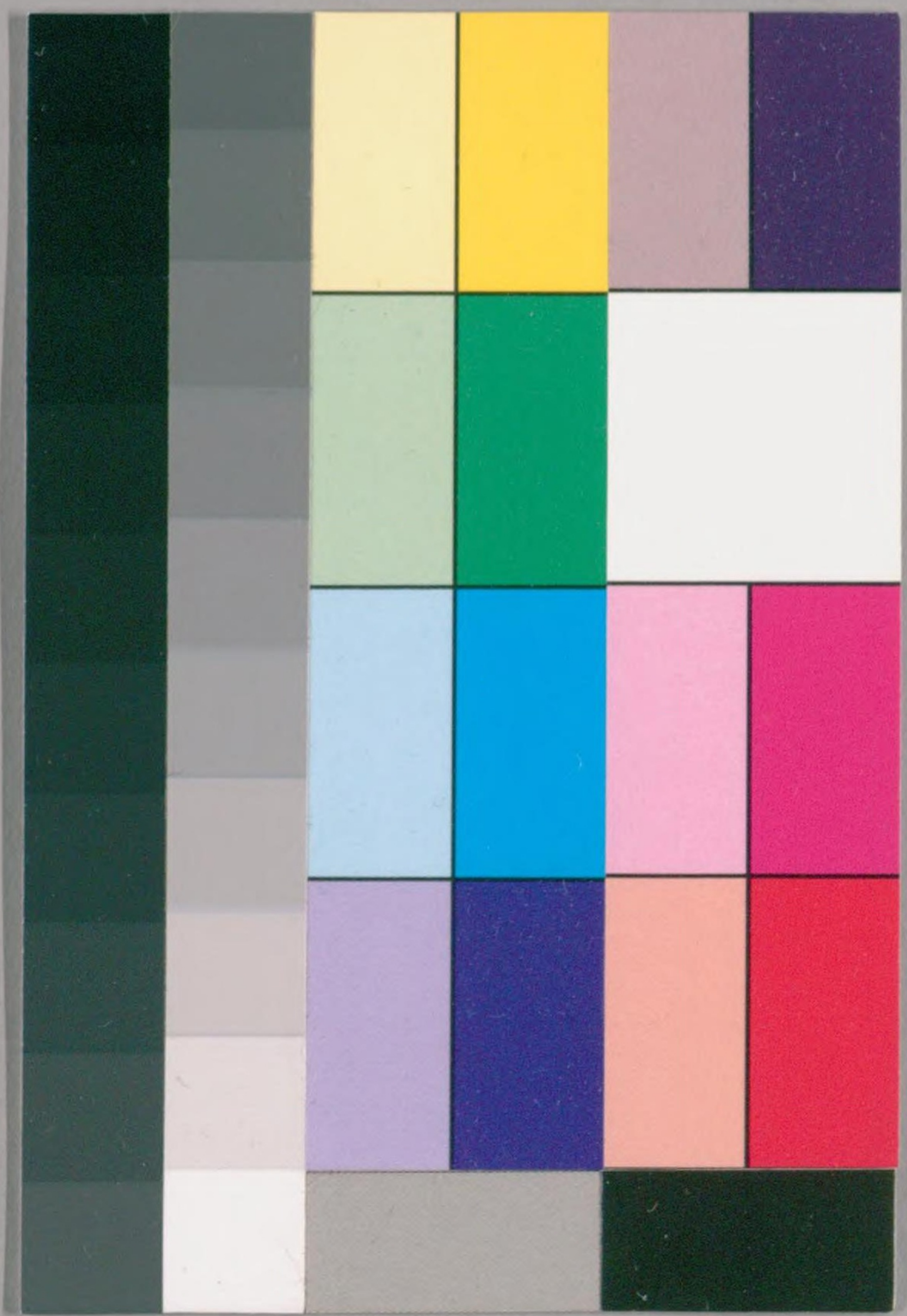
乃道  
木春初中

851

5



国立国会図書館 請求記号 851-5  
タイトル『広益地錦抄 8巻』



ガラス使用



吉田待郎氏 寄贈本

増補地錦抄卷之三

○椿のるひるおん

かぶる

白の色を敷  
丸花葉のどく

花ひらけそとそり久  
つまひめゆりのとく  
よまこひ仲きりかき  
さあつすいやうひの葉  
とんかきとくつん

ふくれ波

白地よなほの

花形丸んとせらねお  
ころひのこきりやせえ

かみの波

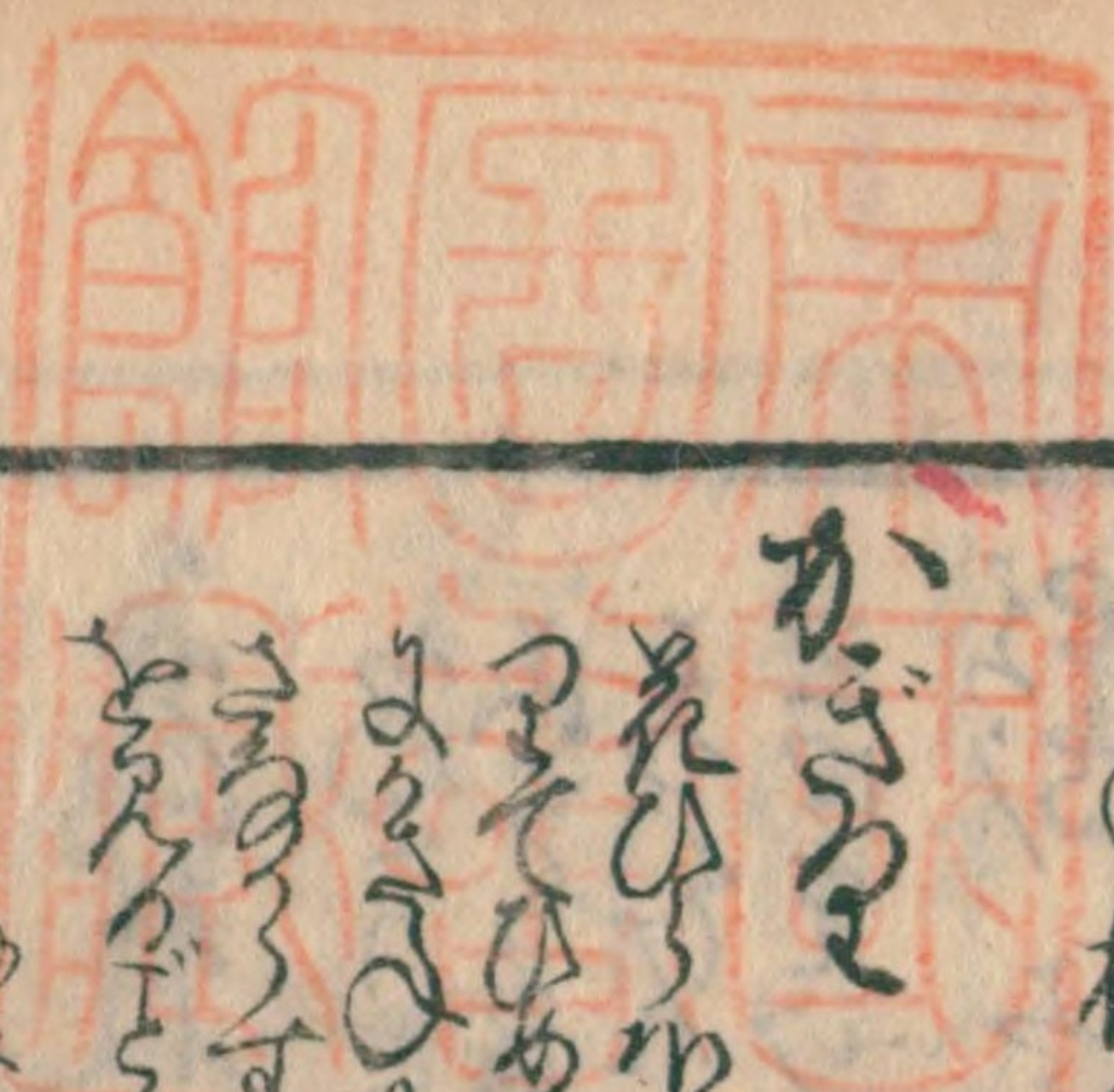
うすなほよなほ

りくくらゆいさるこ  
まきんらん花形丸  
とくははらふら

唐椿

よきなほのひる  
とく花本若葉小

のこくあけりせいの  
形丸とくふてきり花  
形丸とくえ



増補

二二





深由社

うすあぢのた  
のさびいへさ  
花形くくさのこ  
りやせんきやう

多海だれ うすあぢも  
なほのあぢ

あぢのさうてなやど  
及こつたのまうりあぢ  
ふれけんれんくさの  
三回きりやせんきやう

白屋 おのの白色二重  
白屋の内には  
あぢのやうな  
扱ふらん

白らん

よその花白  
八重あて秋  
あぢのさうり  
さの白色

獅子吼 花も葉形も  
りんびりり

横らうさう  
さあくのさうり  
あぢの獅子吼  
あぢの獅子吼

のれ拍あぢ  
さまひあぢ  
らん

熟のふ あぢのふ  
うすあぢのふ  
あぢのふ

あぢのふ  
あぢのふ

乱ね あぢのふ  
あぢのふ

あぢのふ  
あぢのふ

八朝

あぢのふ  
あぢのふ

あぢのふ  
あぢのふ

あぢのふ  
あぢのふ

あぢのふ

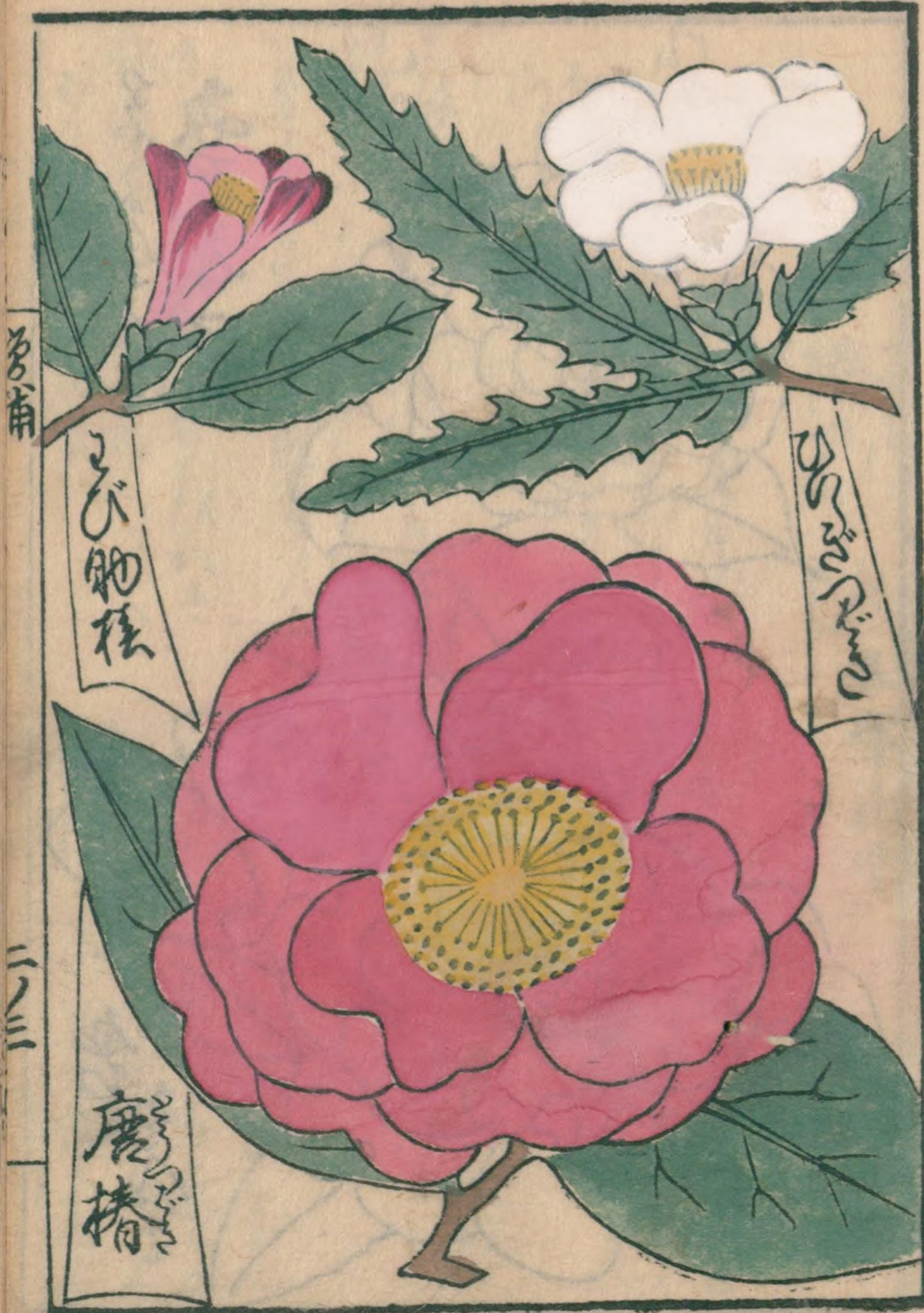
あぢのふ  
あぢのふ

あぢのふ  
あぢのふ

活補

二二二





多南

つばき  
物種

つばき

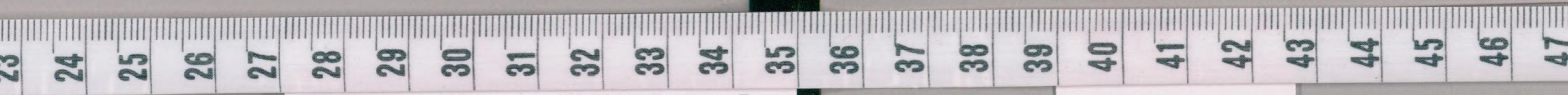
二三

廣椿



かざり  
椿

つばき



国立国会図書館 請求記号 851-5  
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



あな茶の花  
あな茶の花



あな茶の花

○椿乃るし  
木春初中

あつりし花をいふも色ぬ  
あつりし花をいふも色ぬ  
あつりし花をいふも色ぬ

礼拍子  
礼拍子  
礼拍子

春目  
春目  
春目

あつりし花をいふも色ぬ  
あつりし花をいふも色ぬ  
あつりし花をいふも色ぬ

礼鹿子  
礼鹿子  
礼鹿子

あつりし花をいふも色ぬ  
あつりし花をいふも色ぬ  
あつりし花をいふも色ぬ

あつりし花をいふも色ぬ

あつりし花をいふも色ぬ



月光 かりのり公をたるとん  
秘あるやどらん

とろく 白くもろくも

白見 白せんやう  
白見 中やどこま

大の 白くもろくも

の考 初

物花 白くもろくも

指 白くもろくも

白く 白くもろくも

わま 白くもろくも

二 白くもろくも

奥 白くもろくも

と 白くもろくも

足 白くもろくも

一 白くもろくも

と 白くもろくも

と 白くもろくも





ちんちんちんちんちんちん

大自菊 音自おとくきく

白菊 音自しろくきく

白菊 音自しろくきく

大自菊 音自おとくきく

白菊 音自しろくきく

ひろくがよすりりりり

ひろくがよすりりりり

ひろくがよすりりりり

ひろくがよすりりりり

ひろくがよすりりりり

ひろくがよすりりりり

ひろくがよすりりりり

笑わらこまるこ白しろりりりり

白しろ人ひとややりり大おほくく人ひと

白しろ人ひとややりり大おほくく人ひと

白しろ人ひとややりり大おほくく人ひと

白しろ人ひとややりり大おほくく人ひと

白しろ人ひとややりり大おほくく人ひと

白しろ人ひとややりり大おほくく人ひと

白しろ人ひとややりり大おほくく人ひと

白しろ人ひとややりり大おほくく人ひと

白しろ人ひとややりり大おほくく人ひと



かきび入花のさきこじり  
まんげりご

牡丹紋やんをかりがーじりり  
あきるとる人自

乃んうらくわー  
ひひくくくり自のじ  
さき

ふま白んげちりりあび  
あきるとる人自

茂あきれおけくあきる人自

小あききり白んあきる人自  
あきるとる人自

深あきいあきる人自

玉あき門あきる人自

又あき楮あきる人自  
あきるとる人自

さあき山あきる人自

白あき菊あきらあきる人自  
あきるとる人自

ああきつあきゆあきる人自

垣あき田あき花あき入あきる人自  
あきるとる人自

わあきいのあき山あきる人自

んあきこあきああきる人自

三ノ七

白あきくあきる人自

大あき礼あきる人自

志あき比あきおあきる人自

こあきまあき車あきる人自

りあきわあきげあきる人自



白牡丹 白牡丹の草花

白松 白牡丹の草花

白つばき

白牡丹 白牡丹の草花

白牡丹 白牡丹の草花

白牡丹 白牡丹の草花

白牡丹 白牡丹の草花

白牡丹 白牡丹の草花

白牡丹 白牡丹の草花

白牡丹 白牡丹の草花

白牡丹 白牡丹の草花

白牡丹 白牡丹の草花

白牡丹 白牡丹の草花

白牡丹 白牡丹の草花

白牡丹 白牡丹の草花

三十一







白花入 おとび入おちがり

あるこまありある所

すもも てまこやどくろく

ちんちん一花形

すくけのこまありつぎ

いざん 白花こまい丸

中かけ一九月

赤花 おとび入おちがり

つぎ中まん

わらわ おとび入おちがり

あつくたえとがりかん

さ おとび入おちがり

中まんつぎ

白花 おとび入おちがり

こまありつぎ

あ おとび入おちがり

こまありつぎ

わらわ 白中まんおちがり

あ おとび入おちがり

ゆ おとび入おちがり

白花 おとび入おちがり

赤花 おとび入おちがり

あ おとび入おちがり

黒 おとび入おちがり

あ おとび入おちがり

白 おとび入おちがり

あ おとび入おちがり



白糸 千色公をさる人  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白糸 千色公をさる人  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

白蓮 花もくわつて年む  
花もくわつて年む

ガラス使用



山びとげ 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ

山 山びとげのりあ  
まのいご まのいごのりあ



白くあつて赤きうらむ  
へいふもたるん

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ  
白くあつて赤きうらむ

三十三

三十三



あざぐ ねまいせん白りし  
かみちるんりわけ

白のまぢ 白をたてまきか  
そくちりふ

あね 赤ね一を白けし  
あねいびねのあつ白  
そくちり

代 ちりちり ちりちりいそねが  
いそちりちりね形  
わつく紙はけいそくちり  
まてちりちりあつねのみ

いせ ちりちりあつね  
まてあつね

白のまぢ ちりちりあつね  
あつね

あつね ちりちりあつね  
あつね ちりちりあつね  
あつね ちりちりあつね  
あつね ちりちりあつね  
あつね ちりちりあつね

松清 赤いよまをたてちり  
かみちるんりわけ  
白りちりあつね

かみちるんりわけ  
あつね

大白蓮 ちりちりあつね  
あつね

半白 ちりちりあつね  
あつね

あつね ちりちりあつね  
あつね

あつね ちりちりあつね  
あつね

あつね ちりちりあつね  
あつね

あつね ちりちりあつね  
あつね

あつね ちりちりあつね  
あつね



人丸 自見んやうまん

晴天 白ひしんやうまん花束  
つしまのじり候

飯を飯に 自ひしんやうまの  
あがり候まん

写村 自見んやうまん  
かろまん

いんせ山 自見んやうまん  
かろまん

金水 自見んやうまん  
かろまん

あまのり 自中まん  
あまのり

ひんせ山 自ひしんやうまん  
かろまん

あまのり 自見んやうまん  
かろまん

清花 自見んやうまん  
かろまん

あまのり 自見んやうまん  
かろまん

花束 自見んやうまん  
かろまん

あまのり 自見んやうまん  
かろまん

あまのり 自見んやうまん  
かろまん

板橋 自見んやうまん  
かろまん

尾張大橋 自見んやうまん  
かろまん

あまのり 自見んやうまん  
かろまん

あまのり 自見んやうまん  
かろまん

あまのり 自見んやうまん  
かろまん



八手皇 おせんやうのか白  
とび入 おせん

とらす おせんやうのか白  
のり おせん

天押 おせんやうのか白  
白 おせん

酒 おせんやうのか白  
おせん

白 おせんやうのか白  
おせん

白 おせんやうのか白  
おせん

格 おせんやうのか白  
おせん

着 おせんやうのか白  
おせん

南 おせんやうのか白  
おせん

と おせんやうのか白  
おせん

白 おせんやうのか白  
おせん

と おせんやうのか白  
おせん

白 おせんやうのか白  
おせん

白 おせんやうのか白  
おせん

白 おせんやうのか白  
おせん

と おせんやうのか白  
おせん

白 おせんやうのか白  
おせん

白 おせんやうのか白  
おせん

白 おせんやうのか白  
おせん

白 おせんやうのか白  
おせん

白 おせんやうのか白  
おせん

二ノ廿六



うりこ うちまこれちの白  
香文ありしうまざ

○茶山花のろし木秋末

友西 ちせんやうふつじんり  
かたがり九十月より

波西 花形を同じし  
またう

まをいしこのころあり  
さうはあんなたういあ  
けんたり

万紫笑 花形よりし  
うすくちがり

こりん ちのちちつじん花形  
とりのちくさあつこ

星西 ちせんよ白  
あわり

白うね ぬけ白うん花形  
うさねのしあえ

小ぢり 花形つなきのどく  
はうーみりこーういあまの

花かう 白を二を中うん花の  
そこわさるう

ういあう二を小じんち  
のどくくあ

八字一で ちのちちつじん花  
七いあお花形つうく

八字一で ちのちちつじん花  
七いあお花形つうく

白二を小ふり花形  
けありあがどんり

ちのちちつじん花  
のどくくあ

二を二に 白うん花形  
あまの

大いあや ちのちちつじん花  
あひい白りーういあまの

ちのちちつじん花  
あひい白りーういあまの

あ ちのちちつじん花  
あひい白りーういあまの



あまぎら 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り  
あまぎら なまのい 赤い人自り  
あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り  
あまぎら なまのい 赤い人自り  
あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り  
あまぎら なまのい 赤い人自り  
あまぎら なまのい 赤い人自り

水車 みづぐるま 白丸の赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り  
あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り  
あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り  
あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り  
あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り

あまぎら なまのい 赤い人自り



851  
5

らきいれあひ れきいあひ  
すすあひす  
ぢあひあひ

たのめ たのめ  
たのめ たのめ

花車

花車

花切

花切

花

花

花

花

白 白  
あひあひあひ

花 花  
あひあひあひ

花

花

花

花

花

花

花





国立国会図書館 請求記号 851-5  
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用